

経済学部教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

経済学科

経済学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法」（基礎ゼミナールⅠ）、言語教育科目、共通選択科目Ⅰの科目を履修し、大学での学習に必要な基本的な語学力と教養を身につけると同時に、形成期以降での経済学部での学習に必要な基本的知識やスキルを身につける。なお、NEXUSプログラムでは、標準0.5年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語Aおよび言語Bにおける日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、引き続き共通選択科目Ⅰの履修を通じて基礎的な学習の完成を目指すと同時に、共通選択科目Ⅱや基本選択科目を履修することによって、経済学部の専門教育に必要な基本的知識を身につける。
- ・完成期は、学科選択科目や自由選択科目の履修を通じて、より応用的な問題や政策的な問題を学習すると同時に、「多彩な学び」の履修を通じてリベラルアーツ分野における学習の完成を目指す。

経済政策学科

経済政策学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法」（「基礎ゼミナールⅠ」）、言語教育科目、共通選択科目Ⅰを履修し、大学での学習に必要な基本的な語学力と教養を身につけると同時に、経済政策分析の基礎的な知識を修得する。なお、NEXUSプログラムでは、標準0.5年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語Aおよび言語Bにおける日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、引き続き共通選択科目Ⅰの履修を通じて、基礎的な学習の完成を目指すとともに、共通選択科目Ⅱや基本選択科目を履修することによって、経済学の基礎理論と政策分析の手法を身につける。
- ・完成期は、学科選択科目や自由選択科目の履修を通じて、経済社会を多角的に分析する能力を獲得すると同時に、ゼミナールA・Bを通じて実践的な政策立案能力を体得する。

会計ファイナンス学科

会計ファイナンス学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分し編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法」（基礎ゼミナールⅠ）、言語教育科目、共通選択科目Ⅰの科目を履修し、大学での学習に必要な基本的な語学力と教養を身につけると同時に、形成期以降での経済学部での学習に必要な基本的知識やスキルを身につける。なお、NEXUSプログラムでは、標準0.5年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語Aおよび言語Bにおける日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は、会計学やファイナンスを中心とする学修を通じて経済社会について基礎的な理解を得る。
- ・完成期は、会計学やファイナンスを中心とする専門科目の学修の集大成を行い、経済社会で必要とされる自立的な思考能力を体得する。